

あかちゃんの笑顔のために

# 恵庭市ブックスタート事業



© 2000 KENOFFICE/BOOKSTART

心あわせ広げる愛情ことば

# 恵庭市ブックスタートプラス事業

平成24年10月発行

恵庭市立図書館

## 恵庭市ブックスタート事業経緯

2000.6.30	文部省から「2000 年子ども読書年」に係る「子どもの心を育む読書活動推進事業」の採択を受ける
2000.7.19	事業を委嘱する市民組織「子ども読書推進ネットワーク開発実行委員会」が発足(以後、委員会という)。年度内に実施する8事業の企画が決定。図書館は委員会のクリアリング・ハウス(幹事役)に位置する。
2000.7	図書館は「子ども読書年推進会議」のHPでブックスタートを知る。
2000.8	図書館が事業の一つである「読書環境意識調査」の調査方法にブックスタートを用いることを委員会に図書館が提案、了承される。
2000.9.22	委員会主催により、市保健センターで「ブックスタートを考える集い」を開催。講師に「子ども読書年推進会議」ブックスタート室長の白井哲さん、佐藤いづみさんを迎える。
2000.12	図書館本館に「赤ちゃん絵本コーナー」を設置する。
2000.12.8	<b>ブックスタート(試行実施)1回目(対象者 33 組 配付者数 28 組)</b>
2001.1.11	<b>ブックスタート(試行実施)2 回目(対象者 45 組 配付者数 38 組)</b>
2001.2	「読書環境意識調査」として市費 500 千円が予算措置される。
2001.2	市民からブックスタート・パック 500 千円分が図書館に寄贈される。 これにより 2001 年度のブックスタート・パックの通年配付が可能となる。
2001.2.8	<b>ブックスタート(試行実施)3 回目(対象者 57 組 配付者数 51 組)</b> 試行を3回実施。合計 117 組の親子にパックを手渡す。
2001.3	回収された 51 件のアンケートを北海道文教短期大学 梶浦真由美助教授に分析依頼し、この分析結果を掲載した「読書環境意識調査報告書」を発行。委員会を解散する。
2001.3.28	「ブックスタート事業」実施に係る図書館と関係部署(保健福祉部)との合同会議(第 1 回目)を行なう。
2001.4	試行期を経て、恵庭市ブックスタート事業(読書環境意識調査)が始まる。
2001.4.17	委員会を継承する団体として、また恵庭市のブックスタート運動を支援する団体として市民ボランティア組織「えにわゆりかご会」が発足。事務局を図書館に置く。
2001.5	5 月から 9 月にわたり保護者へのアンケートを実施。分析は北海道文教短期大学 梶浦真由美助教授に依頼する。10 月以降のアンケート調査は、同教授の研究課題として翌年 3 月まで継続実施。 保健センター事業として、「えにわゆりかご会」による 9、10 カ月健診会場での絵本の読み聞かせ(乳児健診審査における育児支援 9、10 か月児健診絵本読み聞かせ等事業)が始まる。 子育て支援センター事業「えほんのひろば」への「えにわゆりかご会」出演始まる。 ベビーカー2台が市民(2件)から寄贈される。
2001.7	図書館を会場に、えにわゆりかご会主催事業「あそびわーど あかちゃんといっしょ」が始まる。
2001.10.31	「恵庭市におけるブックスタートに関する調査報告」が提出される。
2002.2	次年度のブックスタート事業費が予算措置され、市費での完全配付が可能となる。
2002.2.20	「ブックスタート事業」実施に係る図書館と関係部署(保健福祉部・えにわゆりかご会)との合同会議(第2回目)開催。
2002.3	<b>平成 13 年度のパック配付数 569 個(対象者 620 組 配付率 91.77%)</b>
2002.8	授乳室を図書館本館に設置する。
2002.8.6	「恵庭市ブックスタート調査結果報告会」を図書館で開催。解説者に北海道文教短期大学 梶浦真由美教授を招き、2001.5 から 2002.3 までのアンケート結果について報告。道内各地から 42 名が参加。
2003.3	<b>平成 14 年度のパック配付数 571 個(対象者 613 組 配付率 93.15%、前年比 1.38%増)</b>
2004.3	<b>平成 15 年度のパック配付数 580 個(対象者 603 組 配付率 96.19% 前年比 3.04%増)</b>
2005.3	<b>平成 16 年度のパック配付数 576 個(対象者 621 組 配付率 92.8% 前年比 3.39%減)</b>
2005.4	恵庭市ブックスタート事業5年目を迎える
2006.3	<b>平成 17 年度のパック配付数 586 個(対象者 615 組 配付率 95.3% 前年比 2.5%増)</b>

2007.3	平成19年度予算にブックスタート拡充事業費が措置される
2007.3	NPO ブックスタートからブックスタート複数回実施時の名称「ブックスタートプラス」の使用について承諾を得る
2007.4	平成18年度のバック配付数 544 個(対象者 567 組 配付率 95.9% 前年比 0.6%増)
2008.3	恵庭市ブックスタート事業初年度配付対象乳児が小学校に入学 恵庭市ブックスタートプラス事業始まる
	平成19年度のバック配付数 572 個(対象者 607 組 配付率 94.2% 前年比 1.7%減)
	平成19年度のブックスタートプラス絵本配付数 568 個(対象者 603 組 配付率 94.2%)
2009.3	平成20年度のバック配付数 597 個(対象者 618 組 配付率 96.6% 前年比 2.4%増)
	平成20年度のブックスタートプラス絵本配付数 576 個(対象者 613 組 配付率 94.0% 前年比 0.2%減)
2010.3	平成21年度のバック配付数 556 個(対象者 571 組 配付率 97.4% 前年比 3.2%増)
	平成21年度のブックスタートプラス絵本配付数 583 個(対象者 612 組 配付率 95.3% 前年比 1.3%増)
2010.4	恵庭市ブックスタート事業 10 年目を迎える
2011.3	平成22年度のバック配付数 568 個(対象者 574 組 配付率 99.0% 前年比 1.6%増)
	平成22年度のブックスタートプラス絵本配付数 560 個(対象者 586 組 配付率 95.6% 前年比 0.3%増)
2012.3	平成23年度のバック配付数 540 個(対象者 562 組 配付率 96.1% 前年比 2.9%減)
	平成23年度のブックスタートプラス絵本配付数 551 個(対象者 566 組 配付率 97.3% 前年比 1.8%増)

■図書館における児童書の貸出冊数推移

	児童書	絵本	紙芝居	計
H19	87,488	87,079	4,252	178,819
H20	94,100	92,743	4,376	191,219
H21	92,169	92,719	3,662	188,550
H22	87,707	94,014	3,135	184,856
H23	93,789	96,890	3,196	193,875

■健診実績の推移

	3, 4カ月児健診受診率	9, 10カ月児健診受診率	1歳6カ月児健診受診率
H19	96.4%	97.7%	97.1%
H20	98.9%	96.6%	95.4%
H21	98.6%	97.5%	97.9%
H22	98.1%	99.1%	97.8%
H23	97.0%	98.2%	98.1%



# 【恵庭市ブックスタート事業実施要領】

## 1. 目的

近年親子関係の希薄化が起因すると思われる少年犯罪、児童虐待などが多発し、大きな社会問題となっています。赤ちゃんに本を読んであげることによる「ことばかけ」の行為は、親子の絆とコミュニケーションを深める機会に繋がると言われています。

この事業は、絵本を通して赤ちゃんと保護者が温かい時間を分かち合うことを応援する子育て支援策として、市保健センターで実施される乳児健診に参加したすべての参加者に、絵本や読み聞かせアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を図書館員と保健師が説明の言葉を添えてプレゼントするものです。

(1)本を手渡すことによって読書への動機付けを図り、赤ちゃんと保護者が一生にわたり図書館を意識し、利用する生涯学習の素地を創出する機会とします。

(2)親子の健やかな生活を願い、保健センター、子育て支援センター、市民ボランティア団体などの協力連携を得て、子育て支援に関する様々な情報と機会を提供します。

## 2. 実施日・場所

9, 10カ月児健診時(市保健センター)

## 3. 対象者

市保健センターの該当月の健診を受診した9, 10カ月の乳児とその保護者に「ブックスタート・パック」を配付します。

## 4. 配付物

①図書館が用意する配付物:絵本2冊、読み聞かせアドバイス集、赤ちゃん絵本ガイド、おはなし広場日程表、利用者登録用紙、布製バック

②市保健センターが用意する配付物:子育てほっとダイヤル

③子育て支援センターが用意する配付物:ファミリーサポート案内

## 5. 図書館フォローアップ

①乳児が参加可能な読み聞かせの会を、図書館で週1～2回開催

②赤ちゃん絵本コーナーの充実

③「赤ちゃんに優しい図書館」を目的とした施設整備の推進

④乳児とその保護者を温かく迎える雰囲気作り

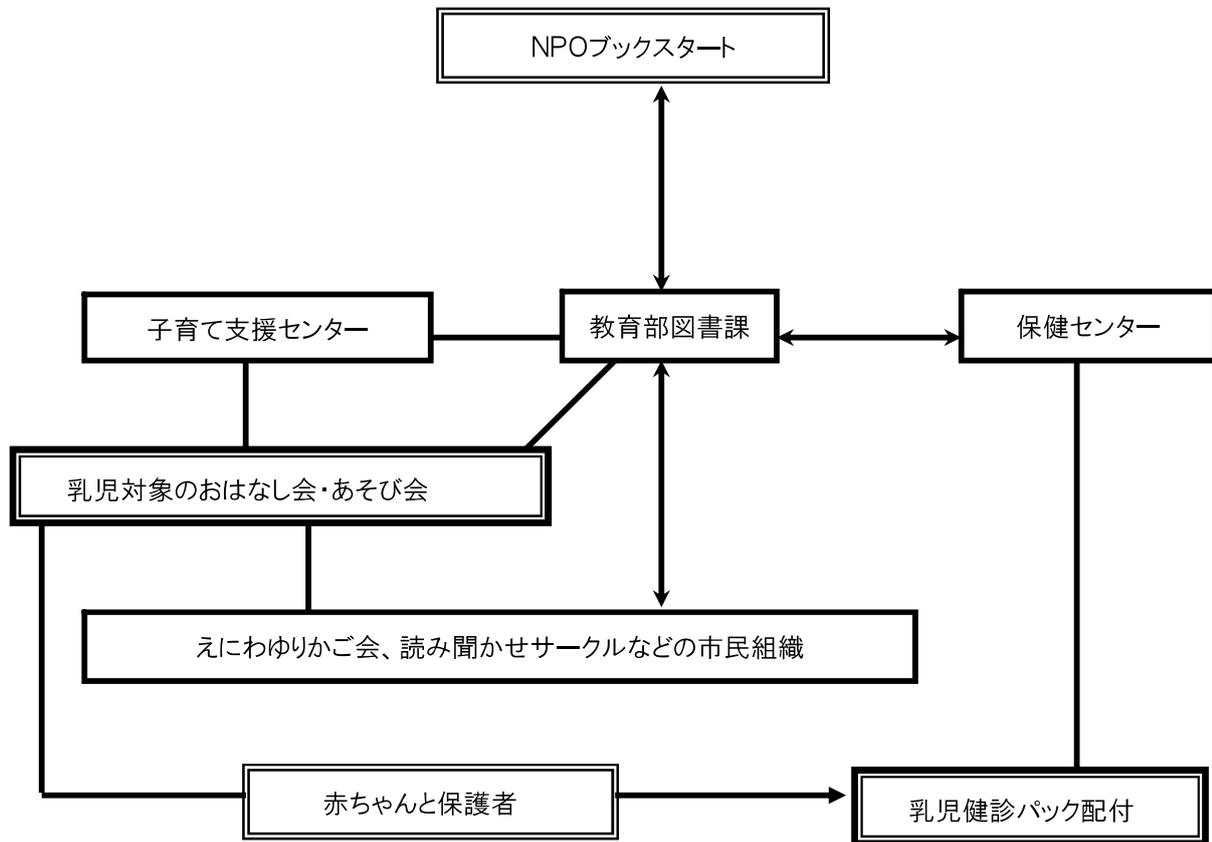
## 【平成24年度関係予算】

ブックスタート関係予算 862,200 円

(内訳)・パック代 1,437 円×600 個×=862,200 円

10 教育費 4 社会教育費 6 図書館費 4 子ども読書推進事業費  
11 需用費 1,505 千円から支出

## 【運 営 体 制】



## 【恵庭市ブックスタートプラス事業実施要領】

### 1. 目的

恵庭市は、絵本を通して赤ちゃんと保護者が温かい時間を分かち合うことを応援する子育て支援策として、9、10カ月児健診でブックスタートを実施しています。

標記事業は、ブックスタートで絵本と出会った親子に対して家庭での読書環境の継続と充実を図るため、市保健センターで実施される1歳6カ月児健診に参加したすべての参加者に絵本及び絵本ガイドを図書館員が説明の言葉を添えてプレゼントするものです。

- (1)ブックスタートで芽生えた読書のきっかけづくりを進め広げるため、幼児に絵本、保護者には絵本ガイドを手渡し、絵本に関心の高い保護者だけでなく、より多くの親子が読書を通してふれあいを高め、家庭での読書を支援します。
- (2)市保健センター、市民ボランティア団体などの協力連携を得て、幼児と保護者が地域とつながりを持つ機会を提供し、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

### 2. 実施日・場所

1歳6カ月児健診時(市保健センター)

### 3. 対象者

市保健センターの該当月の健診を受診した1歳6カ月の幼児とその保護者に絵本と絵本ガイドを配付します。

### 4. 配付物

- ①絵本:図書館が用意した6種類の中から1冊を保護者に選択してもらい配付します
- ②絵本ガイド:図書館が用意した冊子を配付します

### 5. 配付手順

- ①市保健センターが発送する幼児健診案内に引換券を備えた当該事業案内チラシを同封し、健診当日持参するよう周知します
- ②健診当日、図書館員は健診会場にブックスタートプラス会場を設置します
- ③問診時、保健師は絵本及び絵本ガイドが配付されることを保護者に伝えます
- ④図書館員は、引換券を持参した幼児とその保護者に絵本と絵本ガイドを手渡します
- ⑤絵本選択時、ボランティアは幼児や保護者に語りかけを行います
- ⑥図書館員は読書相談、ボランティアは待ち時間の幼児に読み聞かせを行います
- ⑦当該事業の目的達成と市民活動育成支援のため、参加ボランティアに対し謝礼を支出します

## 【平成24年度関係予算】

ブックスタートプラス関係予算 660,600 円

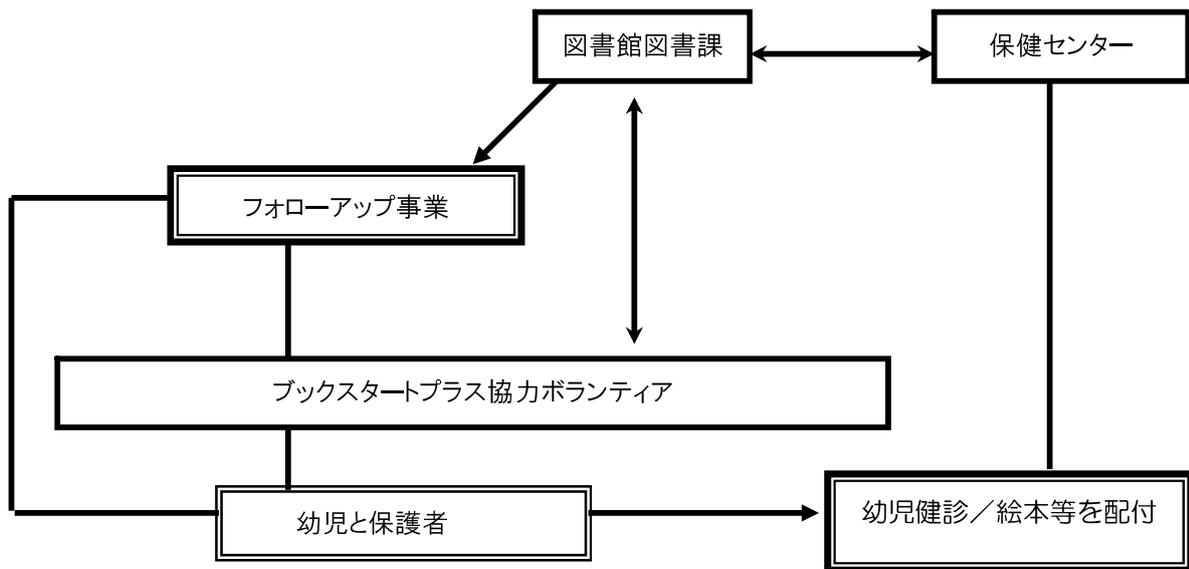
(内訳)・絵本及び絵本ガイド代 1,071 円×600 組=642,600 円

10 教育費 4 社会教育費 6 図書館費 4 子ども読書推進事業費  
11 需用費 1,505 千円から支出

(内訳)・ボランティアへの謝礼 18,000 円

10 教育費 4 社会教育費 6 図書館費 4 子ども読書推進事業費  
8 報償費 38 千円から支出

## 【運営体制】



## ＝ 平成23年度 恵庭市ブックスタート事業に関するアンケート調査集計結果 ＝

■**調査概要** 本調査は、恵庭市が実施している「ブックスタート事業」で絵本の配付を受けた保護者に対し、その後の家庭での読書環境の実態を把握するため、1歳6ヶ月健診参加者の協力を得て実施した。

■**調査期間** 平成23年4月から平成24年3月

■**調査対象** 1歳6ヶ月児健診受診対象者

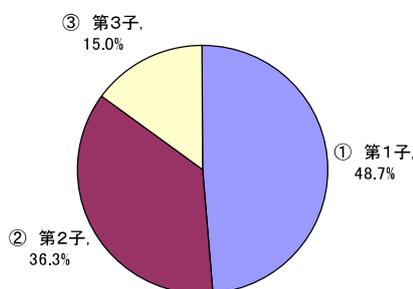
■**調査方法** アンケート調査票を保健センターからの健診案内を通じ郵送し、健診受診時に回収

■**回収率** 96.5%(対象者 566 人中546票回収)

### ■回答概要及び分析

#### Q1 本日健診を受けにこられたお子さんは？

質問事項	件数	比率(%)
①第1子	266	48.7%
②第2子	198	36.3%
③第3子以降	82	15.0%
計	546	100.0%



《分析》第1子が最も多く、全体の約半数を占めている。

#### Q2 あなたは恵庭市ブックスタートを受けていますか？

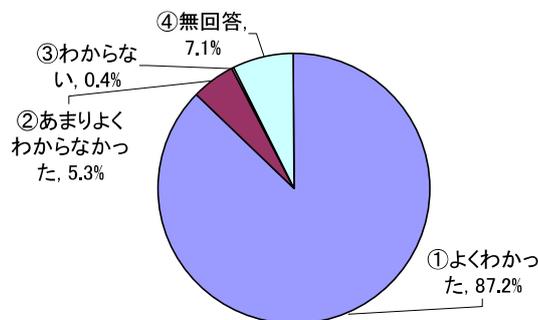
質問事項	件数	比率(%)
①はい	476	87.2%
②いいえ	57	10.4%
③無回答	13	2.4%
計	546	100.0%



《分析》対象者の8割強がブックスタートを受けていることがわかる。「いいえ」の多くは転勤等による転入者と考えられる。

#### Q3 図書館員のブックスタートの説明はどうでしたか？(受けていない方は、Q4へ)

質問事項	件数	比率(%)
①よくわかった	415	87.2%
②あまりよくわからなかった	25	5.3%
③わからなかった	2	0.4%
④無回答	34	7.1%
計	476	100.0%

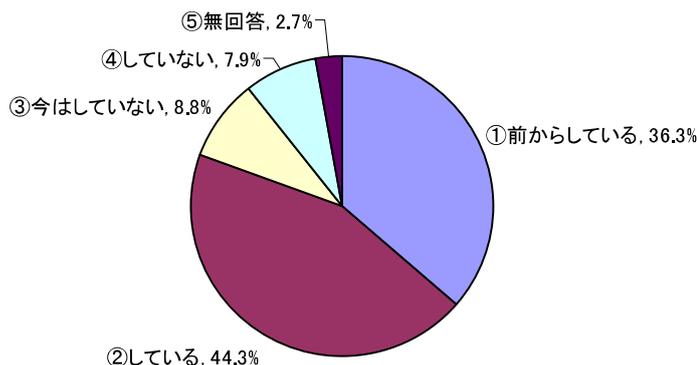


※③「無回答」の件数は、Q2の「いいえ」「無回答」計70件を除いた

《分析》「よくわかった」が全体の9割に迫り、説明はおおむね適切であったといえる。「あまりよくわからなかった」「わからなかった」との回答は合わせて約6%にとどまったが、今後も職員の説明能力の維持・向上が望まれる。

**Q4 ブックスタートを受けた後に、お子さんに読み聞かせをしていますか？(受けていない方は現在のことをお書きください)**

質問事項	件数	比率(%)
①前からしている	198	36.3%
②している	242	44.3%
③今はしていない	48	8.8%
④していない	43	7.9%
⑤無回答	15	2.7%
計	546	100.0%

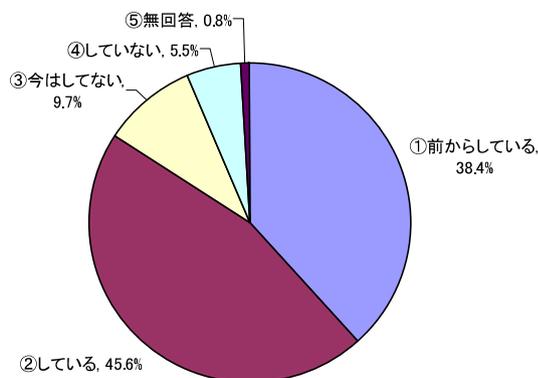


《分析》「前からしている」「している」を合わせると、約8割の家庭で読み聞かせを行っている状況が伺える。

**○「ブックスタート」事業の有無による相違を比較**

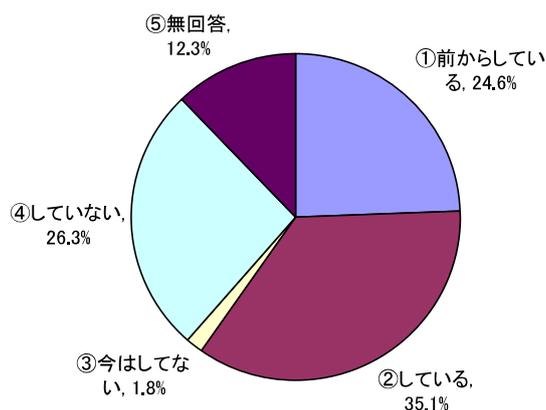
**Q2で「はい」と答えた方を抽出集計**

質問事項	件数	比率(%)
①前からしている	183	38.4%
②している	217	45.6%
③今はしていない	46	9.7%
④していない	26	5.5%
⑤無回答	4	0.8%
計	476	100.0%



**Q2で「いいえ」と答えた方を抽出集計**

質問事項	件数	比率(%)
①前からしている	14	24.6%
②している	20	35.1%
③今はしていない	1	1.8%
④していない	15	26.3%
⑤無回答	7	12.3%
計	57	100.0%



《分析》「前からしている」「している」の合計は、読み聞かせを行っている家庭は「はい」で8割強、「いいえ」で6割となり、2割の開きがあることがわかる。また、「していない」についても2割以上の開きがあることから、ブックスタート事業が読み聞かせのきっかけになっていることが伺える。

Q5 Q4で、①②③と答えた方にお聞きます。何が絵本を読むきっかけでしたか？(複数回答可)

回 答	件数(件)
上の子に読んであげる時、一緒に読んでいる	129
生まれる前から絵本を読んであげようと思っていた	67
ブックスタートで絵本をもらった	51
子どもが自分から読んで欲しい時に本を持ってくる	37
テレビや新聞等で読み聞かせが良いことだと知った	35
子どもが本に興味を持った	26
その他 ※詳細はp4～	161
合 計	506

《分析》

兄・姉の存在が読み聞かせの環境に重要な役割を果たすことや、親の意識が向上していることがわかる。また、ブックスタート事業そのものがきっかけになっているという認識も浸透してきている。

Q6 ブックスタートを受けた後、変化があったすべてに○をおつけください(複数回答可)

質 問 事 項	件数(件)
①もらった絵本を見るようになった	291
②家にある絵本を見るようになった	256
③絵本を買うようになった	114
④図書館に子どもを連れて行くようになった	58
⑤図書館で子どもの本を借りるようになった	64
⑥図書館のおはなし広場に参加するようになった	22
⑦説明を受けた人以外の家族(大人)も絵本を見るようになった	40
⑧兄弟姉妹も絵本を見るようになった	43
⑨特に変わらない	80
⑩その他 ※詳細はp〇～	15
無回答	61
合 計	1,044

《分析》ブックスタートを受けた件数(476件)を考慮すると、6割が「もらった絵本を見るようになった」、5割強が「家にある本を見るようになった」と回答していることになり、主に絵本に対する関心が増加したことが伺える。

Q7 ブックスタート、ブックスタートプラス事業、図書館に関してのご意見・ご要望を自由にお書きください

※後述一覧参照

＜総論＞

■平成13年度より開始した本事業も11年を経過した。延べ6,259組の親子に対し絵本の配付を行い、恵庭市の「絵本を介した子育て支援」が保護者に認識されていることが、アンケート結果から読み取ることができる。対象組数が年々減少傾向にあるなどの変化もあるため、今後はよりきめ細かいサービスを行うことで、家庭での読み聞かせ活動向上に資する取り組みを行っていきたい。

Q5の回答いただいた記述内容・まとめ

Q5 何が絵本を読むきっかけでしたか

	人数
1 上の子に読んであげるとき一緒に読んでいる	129
2 生まれる前から絵本を読んであげようと思っていた	67
3 ブックスタートで絵本をもらった	51
4 子供が自分から読んで欲しい時に本を持ってくる	37
5 テレビや新聞等で読み聞かせが良いことだと知った	35

■その他の記述内容

子どもが本に興味をもったので	26
周囲の人から絵本をもらったため。	18
両親が読書好きだから。	9
本を読んであげたら喜んだので	7
生まれた時に家族・親族にもらった	6
本が好きな子になってほしいので、できるだけ小さいうちから始めたかった。	6
生まれる前から胎教に良いかと思いきよ読み聞かせていた。	6
両親も子どものころ読み聞かせをしてもらっていたから。	5
子供が産まれる以前から読み聞かせが良いことだと認識していたため。	5
出産祝いにたくさん絵本をもらった	5
通信教育(こどもチャレンジ)をとっていたため。	5
感性が豊かになったり、早く言葉を覚えるのと聞いたので。	5
上の子・両親・知人のおさがり絵本があったため。	4
上の子が下の子に自然に読み聞かせを始めたため。	4
好きでいつも見ていた本を読んであげようになった	4
上の子のブックスタートで影響を受けたため。	3
親子でコミュニケーションを取る一つの方法として。	3
子どもは絵本が好きなんだろうなと思うので	3
日常の一部なので、きっかけはない	3
自分で持ってきて見ている	3
ブックスタートで頂いた本が気に入ったから	3
本が好きだから	3
寝かしつける時に読んであげると落ち着くので	3
読んであげるのが聞かない	2
テレビ等のキャラクターが出ている本を見るようになったため。	2
親戚・友人の子供の読み聞かせを参考にした。	2
動物や車など興味があったので、それが描かれた本を読んであげようと思った。	2
様々なことに興味をもってほしいと思ったため。	2
自分の親に読む事を薦められた	2
読む力をつけたいから	2
本がたくさんあるから	2
保育所で読んでもらって、興味を示したため。	1
毎月、絵本を買っているの	1
目の届くところに常に本をおいて、自分で持ってきてやすくしたため。	1
遊び道具の一つとして。	1

おはなし広場や読み聞かせの出前講座で子どもがとても興味を示したため。	1
両親も絵本が好きだし、一緒に楽しめるから。	1
良いことみたいで安心した	1
生後2ヶ月の時、絵本をプレゼントされた	1
子どもが入院した時に読んであげた	1
書店の絵本コーナーで子供が興味を持った	1
妹に読んであげていたが、今も本が好きで文章の理解力に優れている	1
絵本は言葉や行動の意味が分かりやすく伝えられるので	1
子供が興味ないのでやめてしまった	1
TVばかり見せたくなかったのも、自然に	1
上のこのまねをして自分で持ってきたから	1
上のこのまねをして下の子も自然と読んでいます	1
上の子と一緒に読んでいます	1
上の子が絵本が好きで、毎日寝る前に読んでいたら自然と。	1
祖母が読んでいたから	1
いとこと一緒に読んでいた	1
なんとなく	1
子供が本を手にした時	1
保育園で貸し出しをしている	1
保育の仕事をしていたから	1
寝かしつけ時に読んで自分が頁をめくるのが好きそうなのでタイミングを待っている	1
絵本は何度読んでもいいものだから	1
まだいいかなと思っていたが説明を聞いて絵本の読み聞かせを始めた	1
一ヶ月健診で本を読むことが大切と教わった	1
子供チャレンジの付録よりも興味を持った	1
本をかじらなくなってきたから。	1
音やしなやかな本に興味をもったから。	1
恵庭市がよく取り組んでるのを知っていたため。	1

#### Q7:自由記述のまとめ

#### Q7 自由意見(同様意見の場合、人数欄に加算)

《ブックスタート事業について》	人数
これからも続けてほしい	20
とてもよい事業だ	12
絵本を選ぶ参考になった	8
(無料で)絵本をもらえるのが嬉しい	7
もらった本がこどものお気に入りになった	6
絵本を選ぶ参考になった	3
恵庭市の子供への本に対する事業はうれしい	3
絵本ガイドは参考になった	3
こどもが本好きになった	2

ブックスタートのお陰で読み聞かせの時期がわかった	1
ブックスタートで絵本を読むことが大切だと知った	1
読む回数が増えた	1
貰った本で「赤、青」などの言葉を覚えた	1
本の種類、ジャンルを増やしてほしい、古い本が多い	1
絵本を読んで楽しむ時間を増やしていきたい	1
ブックスタートやおはなし広場を活用させていただき助かる	1
ミッフィーの本を頂き寝る前に読んで、というようになった	1
ブックスタートは小、中学生に浸透していない	1
子育てにプラス	1
月齢にあった絵本を選ぶのがむずかしい	1
本を探すのが大変	1
本の入ってるかばんが無駄	1
はらぺこ青虫で絵本が好きになった	1
ブックスタートで何の絵本がいただけるか毎回楽しみ	1
もっと子供が興味を持ってくれるといい	1
早めにいただけたので、早く意識できて良かった	1
便利だと思う	1
第1子第2子と用意されていた本が違っていたのでうれしかった	1
毎年1冊づつでもお薦めの本をいただけたらと思います	1
1子の時貰った「ぴょん」という本を2子も気に入っている	1
1歳で転居してきたので対象にならなかった。9ヶ月健診にこだわらずプレゼントしてくれればと思った	1
絵本に親しむきっかけになった	1
毎日読んでいる	1
1歳半健診の時の絵本を1冊から、親子で好きな本を1冊づつ選んで2冊にしてはどうか	1
子どもとのコミュニケーションに有効	1
買わない様な絵本に子供が興味を示すと新発見が出来て嬉しい	1
年齢に合った絵本をもらえるのが嬉しい	1
プラス事業予算で子供の室内遊び場を作ってほしい	1
3歳児検診でも絵本が欲しい	1

《図書館について》	人数
恵庭分館に靴を脱いで上がれるスペースがほしい	2
図書館を利用するきっかけになった	2
図書館の育児雑誌を増やしてほしい	2
年齢や目的に合った本が探しやすくなるとよい	1
沢山本を借りることが出来て助かっている	1
島松分館の本を増やしてほしい	1

駐車場が満車なので入れない	1
今の絵本コーナーを入口付近にしてほしい。帰る時泣くので迷惑をかける	1
図書館には行きたいが忙しくて行けない	1
絵本が沢山あるので迷う、推薦本を教えてください	1
分館を利用している。引越してきたがイベントが多く楽しんでいる。子供のスペースも落ち着く	1
絵本が充実している	1
家にある本の修理をしてほしい	1
車の免許が無い為本を借りられる出張所を増やして欲しい。宅配レンタルがあればいい	1
子どもが大きくなってから図書館に行きたい	1

《おはなし広場について》	人数
保育園や仕事に行ってるので、おはなし広場を土日にやってもらいたい	2
おはなし広場にも参加したい	2
バルーンにも参加したい	1
子供が小さくてうるさいので、小さい子供だけの時間があれば知りたい	1
図書館の読み聞かせがとても参考になった	1
おはなし広場の回数をふやしてほしい	1